



酒井茂の県政だより

発行責任者:酒井茂 〒399-4432 伊那市東春近原新田8243 TEL/FAX.0265-73-5606

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 一般質問での提案が複数実現 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

私がこれまで行ってきた県議会一般質問での提案が実現しました。令和2年2月県議会定例会で議決された条例や予算を紹介します。

長野県公文書等の管理に関する条例案

私はこれまで平成30年6月・同年9月・令和元年6月の議会定例会の一般質問で、3回にわたり条例の制定を提案してきました。2月議会で知事から議案が提案され議決されました。

条例制定により、長野県では「森友学園」や「桜を見る会」のような問題は起きません。

公文書管理システムの構築に要する予算案

公文書管理条例に沿った文書管理を行うため、新たな文書管理システムを構築。これに必要な予算1億2400万円が決定(令和2年度・3年度の2か年)。

公文書審議会の開催に要する予算案

公文書管理条例に基づき公文書管理の基準などを審議する公文書審議会を設置しますが、会議の開催に必要な予算100万円が決定。

市町村水道の広域連携に要する予算案

私は昨年9月議会の一般質問で、市町村水道の経営の安定化等を図るために、広域連携の推進を提案しましたが、広域連携の検討に向けた調査費2400万円が決定。

消防広域化に要する予算案

私は昨年9月議会の一般質問で、大規模災害時等を想定して消防本部の強化を図るため、常備消防の広域化(消防本部の統合)を提案しましたが、広域化の検討に向けた調査費400万円が決定。

県職員の不妊治療休暇の導入

私は平成30年11月議会の一般質問で、不妊治療を受けやすい環境を整備するために、不妊治療休暇の制度化を提案しましたが、県職員については令和2年度から最長1年の休暇が取れるよう制度化されました(県条例の改正による)。この制度は公務員としては国・都道府県を含めて全国初です。

国道153号「伊駒アルプスロード」の事業採択

私は、これまで平成27年6月・平成28年2月・令和元年6月の議会定例会の一般質問で、3回にわたり国の権限代行(県に代わって国が事業を実施)による事業化を提案してきましたが、令和2年3月31日に事業化が正式に決定しました。

国の直轄事業になれば、県の負担は相当軽減されます。

令和2年度から国土交通省飯田国道工事事務所により事業が開始されます(2年度予算額は5千万円)。



予定ルート of 東春近の田園風景

伊駒アルプスロード概要

- 実施区間：伊那市美篤～宮田村～駒ヶ根市赤穂
(伊那市福島～伊那市美篤は「伊那バイパス」として県が施工)
- 延長：11.6 km
- 総事業費：620 億円

県議会 4月臨時会



本会議で委員長報告

新型コロナ対策補正予算

4月28日(火)に県議会の臨時会開催。

新型コロナ対策として必要経費を計上。一般会計では総額279億円の補正。

●補正予算の主な内容

■検査・医療提供体制の強化

感染症外来・検査センター設置(県内20カ所程度)、軽症者等受入施設等確保、入院医療費公費負担(感染症患者の入院医療費)、相談体制維持・強化(県看護協会に設置)、感染症予防対策物資購入(医療機関等の防護服・サージカルマスク等の購入費)

■県内経済と県民生活の下支え

中小企業融資制度資金、拡大防止協力企業等特別支援(1事業者30万円。県：市町村＝2：1)、生活福祉資金緊急小口等特例貸付【県社会福祉協議会による資金貸付を実施①緊急小口資金10万円(特例20万円)・無利子、②総合支援資金月15万円(月20万円)・無利子】

■遠隔教育環境の整備

ICT環境整備(県立学校の整備を前倒し実施)

県議会常任委員長に就任



初委員会での委員長就任あいさつ

- ・3月11日の議会本会議で、「県民文化・健康福祉委員会」委員長に指名されました。任期は1年です。
- ・これまで3つの常任委員会の副委員長を務めました。委員長職は初めてです。
- ・新型コロナ対策の担当委員長として提案と政策のチェックを行います。

●担当する主な業務

【県民文化部関係】

文化政策、県民協働、くらし安全、人権・男女共同参画、次世代サポート、こども・家庭、高等教育振興、消費生活センター、児童相談所

【健康福祉部関係】

医療政策(医師・看護人材確保対策)、地域福祉、健康増進(国民健康保険)、保健・疾病対策(新型コロナ対策)、介護支援、障がい者支援、食品・生活衛生、保健所、看護大学

酒井茂 議会等の役職

- 県議会：県民文化・健康福祉委員会 委員長
- 一部事務組合：上伊那広域水道用水企業団 議長
- 長野県医療審議会：委員 ●自民党県議団：政調会 副会長